

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 17 日現在

機関番号：31302

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2016

課題番号：25770306

研究課題名(和文) 場所と風景から語られる長期紛争経験についての人類学的研究

研究課題名(英文) An anthropological study of images of place, and landscape, in narratives and artworks concerning war/conflict memories

研究代表者

酒井 朋子 (Sakai, Tomoko)

東北学院大学・教養学部・准教授

研究者番号：90589748

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、戦争・紛争の語りのなかで場所や風景が帯びる意味と重要性を明らかにすることを目的としている。主な研究対象地域はイギリス領北アイルランドと南米のチリである。長期紛争の終了後も異なる民族コミュニティが分かれて暮らす都市ベルファストにおける政治壁画・記憶壁画や、軍事独裁期の記憶を描くチリのタペストリー、「アルピジェラ」のなかに、土地に対する愛着と辛苦の表現がいかに風景描写としてあらわれるのかを分析した。この研究成果は、2015年に出版した単著の一部をなした。また、軍事独裁期の記憶を描くチリのタペストリーについては、その研究成果が、2017年度に仙台・京都・長崎の巡回展として公開されている。

研究成果の概要(英文)：This research project explores the symbolic and physical importance of place in memories of war and conflict, through a focus on visual, tactile and narrative representations of landscape. Studies were mostly conducted on the cases of Northern Ireland and Chile. Major objects of analysis are: The political and memory murals in working-class districts in Belfast, the city that still observes a high percentage of ethnic segregation even after 15-20 years since the "peace" agreement; Chilean tapestries called "arpillera", media of testimonies of experiences during the dictatorship, sewn by women in poor neighbourhood. The outcomes of this project became part of my book published in 2015, and also are being made public in an exhibition "Stitching Memoryscape" that is held in Sendai, Kyoto and Nagasaki in 2017.

研究分野：文化・社会人類学

キーワード：紛争 記憶 風景 日常 アイルランド チリ 展示 国際情報交換

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は20世紀後半に約30年の武力紛争を経験した北アイルランドにおける紛争の記憶を、2005年より調査してきた。主にオーラルな証言やライフ・ストーリーとして語られる記憶に焦点を置いて聞き取りや分析を行ってきたが、そのなかで、単に社会的・政治的メッセージを伝えるだけでなく、場所のイメージを強く持つ経験談こそが、地域コミュニティや親族の間で、しばしば世代を超えて、広く伝わっていくことに気づいた。また、紛争や政治暴力の過去が「生の経験」として世代を超えて継承されていく現場では、ことばを通じた語りのみならず、視覚や身体感覚にうったえるような多様なコミュニティ・アートが重要な役割を果たしていることも感じるようになった。これは、人間の記憶や情感、行動が、「その場にいること」によって喚起され導かれるからでもあろう。わたしたちは頭のなかの考えのみから自身の記憶をコントロールすることはできない。ことばをつうじてまとめあげることが容易でない五感や身体の実験のなかで、記憶を刷新していくのである。

記憶のこの側面にアプローチすべく、本研究では「風景」をキーワードとすることにした。戦争や紛争の記憶のなかで、風景のイメージは、一方では「自分の居場所」という愛着・安心感に、他方では頻発する暴力への恐怖や耐えがたい記憶に、同時に結びついたものとなっている。このアプローチは、従来の「記憶の政治学」研究が、過去について何かを思い起こしたり表現する個人、集団あるいは社会組織を、過剰に首尾一貫した主体として描いてきたことに対する批判意識から生まれてきたものでもあった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、戦争・紛争の語りのなかで場所や風景が帯びる意味と重要性を明らかにすることにあつた。とくに長期紛争の経験に焦点をあて、①日常生活の場が戦場になるなかで、個々人ではなく場所を中心とした物語が生まれ共有されていく理由、②そこで語られる風景が人びとのトラウマ的記憶と愛着・ノスタルジーの双方と同時に結びついている可能性、これら二点を明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

本プロジェクトは、主として以下の三つの焦点・手法の研究を進めていった。

(1) 北アイルランドの分断地区における壁画の研究。

アイルランド系カトリックとイギリス系プロテスタントが地区ごとに分かれて暮らすベルファストの労働者階級地区にて、地区

を彩るコミュニティ・アートである政治・記憶壁画を調査した。

とくに、小なアイルランド系コミュニティが巨大なイギリス系コミュニティに囲まれている東ベルファストにて集中的な調査を行い、両コミュニティの壁画に描かれる共通の歴史的ランド・マーク（過去に豪華客船タイタニック号を建造した造船所の巨大クレーン）について調査した。このクレーンは、イギリス系コミュニティにとってはイギリス帝国のかつての威光を象徴するものであったが、アイルランド系コミュニティにとっては、その輝かしい記憶のみならず、長らくアイルランド系住民が受けてきた植民地支配や差別とも結びついたものである。だがこのランド・マークは、両コミュニティの和解への希望の象徴として用いられることもあり、その様子からは、風景が多様な意味に開かれながらも、人々と土地とのあらいあいのない結びつきを示していることが明らかになった。



図1. ベルファストのクレーンの壁画。イギリス系の武装グループにより一般市民が殺害されたパブの壁面に描かれている。

(2) チリのタペストリー、アルピジェラについての調査。

アルピジェラはアウグスト・ピノチエトによる軍事独裁体制期（1973-1990年）のチリで貧困地区ポブラシオンにて作られはじめたもの。暴力的な政治弾圧が行われ、貧富の格差が拡大し、失業問題が深刻化するなかで、女性たちが自分のもつ技術である裁縫・手芸を通じて、社会的・政治的な経験を描きはじめたものである。

研究代表者は、北アイルランド調査をつうじて、北アイルランド在住のチリ出身キュレーター、ロベルタ・バチチ氏と知り合い、紛争や政治暴力を経験した世界の各地で関心を集めているアルピジェラのことを知るに至った。アルピジェラは、ことば以外の手法で政治暴力や経済暴力の経験を国内外に伝えていった証言媒体であり、フェアトレード品であり、アートであるが、そこにはアンデスの山や貧困地区特有の風景など、人々の「故郷」や「地元」の感覚と結びついた風景モチーフが多く描かれている。この点を興味深く感じ、彼女が関わる北アイルランドのこ

レクシオンから、アルピジェラの調査を行った。また、日本におけるチリ人民連帯運動のなかで多数のアルピジェラが購入され、長野県の大島博光記念館に所蔵されていることをつきとめ、所蔵作品約120点の調査も、バチ氏とともにいった。

2016年9月にはサンティアゴで現地調査を行い、アルピジェラ製作者や、貧困地区の調査を行った。

2016年初頭からは、東北学院大学の研究者ならびに仙台市近隣にてキュレーションや編集などの領域で活動する市民と「記憶風景を縫う」実行委員会を結成。2017年度にアルピジェラの展覧会を行うべく、準備のための活動を開始した。その中で、市民公開勉強会開催、チリのサンティアゴや東北の津波被災地・原発事故の影響下にある地域の調査などを行った。



図2. チリのアルピジェラ。貧民区特有の風景を背景に地区の炊き出しが描かれる

(3) 東日本大震災や本プロジェクトは長期紛争の記憶と風景イメージをめぐるものであったが、参考として、天災の経験と、その経験にまつわる記憶イメージについても研究を行った。具体的には、東北学院大学トポフィリアプロジェクト(代表: 現上智大学准教授植田今日子氏)による気仙沼市唐桑町での調査に参加し、住民たちの生活史を聞き取り、津波によって失われた風景や、かつて栄えた町の姿を、絵地図として描き起こす企画に関わった。

4. 研究成果

北アイルランドの長期紛争の記憶についての研究成果は、単著ならびに学会発表として成果を発表した(学会発表①、②、③、図書③、④)。

チリのタペストリー、アルピジェラの研究については、2017年の仙台・京都・長崎での展示で、その成果が公開される。仙台の会場は東京エレクトロンホール宮城、5-6月にかけての2週間の開催で、約600名の来場者があった。京都は同志社大学にて7月初旬に開かれ、約10日間の会期である。長崎の会場

は長崎県美術館であり、8月末から9月初頭にかけて約1週間の開催となる。全体で1500名程度の来場者を予期している。この展覧会は研究成果発信の場であるだけでなく、災禍の記憶の伝承において「展示」および「自らと遠い経験のように見える表現について学ぶこと」がもつ可能性を考察する研究活動でもある。なお展覧会にあわせ、作品図録を出版した(図書①)。アルピジェラ制作の歴史的・政治的背景にかんするラテンアメリカ研究者のエッセイや、東日本大震災や福島原発事故にとって記憶風景がもつ意味について問うインタビュー記事などを掲載している。

前項目(3)のトポフィリアプロジェクトについては、2年間の調査活動ののち、成果出版物がまとめられた(図書⑥)。また、津波被災地においては過去の風景や情景をうつした写真がきわめて貴重であるため、調査の過程で入手した写真を写真集の形態でまとめ、調査協力者の語り手に手渡している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

- ① 酒井朋子、記憶表現としてのタペストリー：チリのアルピジェラの歴史証言、比較文化研究、査読有、No.125、2017年、pp.127-140。
- ② Tomoko Sakai、Between Empathy and Antipathy: Researching Life Narratives in a Violently Divided Society、査読有、東北学院大学英語英文学研究所紀要、第42号、2017年、pp.1-16。

[学会発表](計3件)

- ① Tomoko Sakai、Spatial Experience, Imminent Threat and Trans-generational Memory of Violence, 17th Inter-Congress of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, 2016.5, Dubrovnik (Croatia)。
- ② Tomoko Sakai、Shared and Dividing Landscape: Spatial-Visual Narratives from Northern Ireland, 17th World-Congress of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, 2013.8, Dubrovnik (Croatia)。
- ③ 酒井朋子、和平への葛藤-移行期北アイルランド社会における長期紛争経験の語り、日本文化人類学会第47回研究大会、2013年6月、慶應大学(東京)。

[図書](計6件)

- ① 「記憶風景を縫う」実行委員会編、『記憶風景を縫う-チリのアルピジェラと災禍の表現』、「記憶風景を縫う」実行委員会、2017年、pp. 6, 15, 18, 21, 22, 24-26, 31-33, 38-41, 44, 48, 50-57, 59-62。

- ② 酒井朋子、「私的な戦争経験と歴史の断絶」藤原辰史編『第一次世界大戦を考える』、共和国、2016年、pp.149-151。
- ③ 酒井朋子、『紛争という日常-北アイルランドにおける記憶と語りの民族誌』、人文書院、2015年、全306頁。
- ④ 酒井朋子、「記憶・語り・場所」『世界民族百科事典』、丸善、2014年、pp.264-265頁。
- ⑤ 酒井朋子「北アイルランド紛争と大戦の記憶」、山室信一ほか編『現代の起点 第一次世界大戦 第三巻 精神の変容』岩波書店、2014年、pp.166-167。
- ⑥ 東北学院大学トポフィリアプロジェクト編、『更地の向こう側』、かもがわ出版、2013年、pp.27-28, 46-48, 52-55, 76-78, 84-85, 95-101, 112-113。

[その他]

ホームページ等

「記憶風景を縫う」実行委員会 Facebook

<https://www.facebook.com/arpilleras.jp/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

酒井 朋子 (Tomoko Sakai)

東北学院大学・教養学部・准教授

研究者番号：90589748